

頰椎と腰椎のリウマチ病変の発生の違い

上野山 和秀 福岡赤十字病院 整形外科
(2000年、第1回博多リウマチセミナー)

1. 病理、リウマチ性病変

滑膜関節

環軸関節、椎間関節における滑膜炎

靱帯付着部 (enthesis)

靱帯付着部炎、腱靱帯の骨移行部から始まる侵食像

椎間板

椎間板内リウマトイド結節、 entheso-peridiscal 領域からの RA 炎症性肉芽の侵入

椎体

骨内リウマトイド結節、 entheso-peridiscal 領域からの RA 炎症性肉芽の侵入

2. 病態

上位頰椎

環軸関節亜脱臼 (atlantoaxial subluxation/AAS)

正中、外側環軸関節のリウマチ病変による環軸関節の前方亜脱臼

軸椎垂直亜脱臼 (vertical subluxation/VS)

AAS で外側環軸関節の破壊の進行により生じる軸椎の上方移動

下位頰椎

亜脱臼 (subaxial subluxation/SS)、はしご状脊椎 (ladder step spine)

椎間関節のリウマチ病変による破壊、棘突起靱帯付着部の炎症、椎間板への炎症の波及により生じる。椎間関節の脊椎支持性に関与する割合が腰椎などよりもはるかに大きいため不安定性や亜脱臼を生じやすい。

胸椎

椎体圧潰

リウマトイド結節、RA 炎症性肉芽の侵入などにより椎体の圧潰を生じるが、胸郭全体が支持力となるため脱臼などを来すことはほとんどない。

腰椎

椎体圧潰、亜脱臼、すべり

リウマトイド結節、RA 炎症性肉芽の侵入による椎体破壊が主のものとは椎間関節破壊が主のものとは分けられる。椎間関節破壊が主のものでは亜脱臼やすべりを生じる。

3. 頻度

脊椎のリウマチ性病変は頰椎に好発し胸腰椎は比較的少ないとされてきたが、最近の報告では胸腰椎病変の頻度は決して少なくない。胸腰椎病変は症状に現れるのが比較的少なく、変性疾患による背腰痛と混同され RA と認識されにくい。またバイオプシーや手術によらない限り確定診断ができないのが原因と考えられる。

4. まとめ

1. 脊椎のリウマチ性病変は滑膜関節だけでなく、滑膜関節以外の靭帯付着部、椎間板、椎体に存在し多彩な病態を呈する。
2. 部位による病態の違いは解剖学的な違いにより生じる。上位頸椎は下位頸椎以下とは大きく異なるため AAS や VS 等の特異な病態を呈する。下位頸椎、胸椎、腰椎は比較的共通する解剖学的構造を有するが、椎間関節の脊椎支持性に関与する割合などで病態が異なる。
3. 胸腰椎のリウマチ性病変は頻度の低いものではない。

【文献】

- 1) Baggenstoss, A. H, Bickei, W.H, Ward, L. E : Rheumatoid granuomatous nodules as destructive lesions of vertebrae. J. Bone Joint Surg., 34-A : 601-609, 1952.
- 2) 藤威桂樹ほか：リウマチ性脊椎病変に対する外科治療の適応とタイミング。MB Orthop. 12 (5) : 27, 1999.
- 3) Heywood, A W. B., et al : Rheumatoid arthritis of the thoracic and lumbar spine. I. Bone Joint Surg. 68-B : 362-368, 1986.
- 4) 日野原 真一ほか：慢性関節リウマチによる腰椎病変の2症例。日関外誌, 16, (1), 63-72, 1997.
- 5) 兼子 秀人 ほか：リウマトイド病変によって生じた腰椎圧迫骨折の1例日関外誌, 17, (2), 187-192, 1995.
- 6) 片岡治ほか：RA胸腰椎の病態と治療 脊椎脊髓 2 : 745-753, 1989.
- 7) Laurence, J, S. et al : Rheumatoid arthritis of the lumbar spine Ann Rheum Dis. 23 : 205-217, 1964.
- 8) 中瀬 尚長 ほか：慢性関節リウマチ患者にみられる腰椎前方病変について。日脊椎会誌 8 : S147, 1997.
- 9) 西林 保朗 ほか：慢性関節リウマチにおける脊椎罹患と臨床上的の問題点。関節外科, 12 : 129-140, 1993
- 10) 西岡 淳一 ほか：慢性関節リウマチにおける胸腰椎病変。整・災外, 38 : 209-218, 1995.
- 11) 大谷 晃司 ほか：慢性関節リウマチによる病的腰椎前方すべり発生の1例 臨整外, 31 : 1187-1190. 1996.
- 12) 佐藤 克彦 ほか：慢性関節リウマチ病変によって生じた腰椎前方すべり症の経験 整形外科, 49 : 1099-1101, 1998.
- 13) Sims-Williams, H. et al : Rheumatoid involvement of the lumbar spine Ann. Rheum Dis. 36 : 524-531, 1977.
- 14) 菅野 卓朗：慢性関節リウマチにおける脊椎病変。リウマチ, 19 : 483-493, 1979.
- 15) 戸山 芳昭：リウマチ 頸椎疾患への対応。臨整外, 32 : 1311-1319, 1997.
- 16) 土田 豊実：RAにおける腰椎変化とMRI リウマチ科, 19 (2) : 149-156, 1998
- 17) 辻 陽雄 ほか：腰椎-多発性関節リウマチにおける腰椎部リウマチ病変について。関節の外科, 11 : 65-70, 1984,
- 18) 上好 昭孝 ほか：RAにおける脊椎病変 (X線学的分類とOsteocalcin). 日関外誌, 6 : 473-480, 1987.
- 19) 渡辺 雅彦 ほか：RA頸椎の脊髄症発現機序と手術療法。関節外科, 18 : 138-142, 1999.
- 20) 米延 策雄 ほか：慢性関節リウマチによる脊椎病変の病態と治療 日整会誌, 70 : 573-582, 1996.